

2022年11月22日

日本航空株式会社

ヤマトホールディングス株式会社

2024年4月から運航を開始する貨物専用機の 運航路線・運航便数を決定

日本航空株式会社(本社:品川区東品川、代表取締役社長:赤坂祐二、以下「JAL」)とヤマトホールディングス株式会社(本社:中央区銀座、代表取締役社長:長尾裕、以下「ヤマトHD」)は、安定的な輸送力確保やサービス品質の維持・向上、地域活性化など社会課題の解決に向け、2024年4月から運航開始を予定する貨物専用機の運航路線および運航便数を決定しました。引き続き両社で、運航開始に向けた取り組みを実施してまいります。

記

1. 運航路線・便数

2024年4月から運航するエアバス A321ceo P2F 型機^{※3}機すべてが稼働した後は、以下の4路線にて、合計21便/日を計画しています。

当計画は関係当局への申請と認可を前提としています。

- (1) 東京(成田/羽田) = 北九州
- (2) 東京(成田/羽田) = 札幌(新千歳)
- (3) 東京(成田) - 沖縄(那覇)
- (4) 沖縄(那覇) - 北九州

※最大搭載重量 : 28t/機(10t車約5~6台分)
搭載コンテナ : AAYコンテナ(メインデッキ): 14台
AKHコンテナ(ロワーデッキ): 10台

2. 機体の受領・改修状況など

(1) 受領状況

3機のうち2機の受領を完了し、残り1機を2023年2月に受領する予定です。

(2) 機体改修

旅客機から貨物専用機への改修作業を2023年3月よりシンガポールにて順次開始します。貨物専用機への改造プログラムはドイツ EFW 社[※]と契約しています。

※EFW社は、航空機メーカーであるエアバス(AIRBUS)社とシンガポールの ST Engineering が共同で設立した、エアバスの機体を旅客機から貨物専用機へ改修を行う専門会社です。

(3) 運航会社

運航会社を JAL 連結子会社であるスプリング・ジャパン株式会社に変更します。

JAL グループは、外部環境を踏まえた上で経営資源配分の最適化を図り、グループ内 LCC の事業基盤を強化するとともに、2024 年 4 月からの貨物専用機の運航開始に向け JAL グループ全体で準備を加速します。

(4) その他

① 施設・機材関連

就航予定各空港において、貨物専用機就航に伴い必要となる機材の導入・施設関連の整備を進めています。

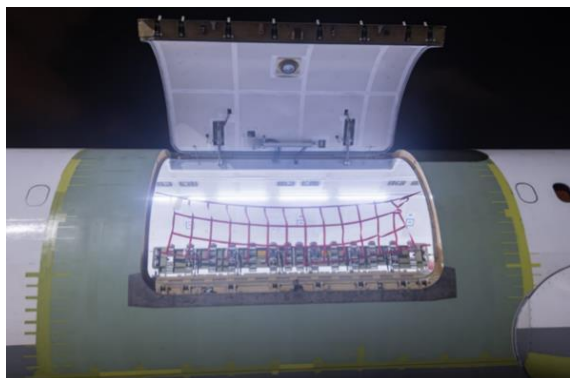
② 採用関連

2024 年の就航に向けて運航に関連する要員や、貨物をハンドリングする要員など、両社ともに新規採用を進めます。

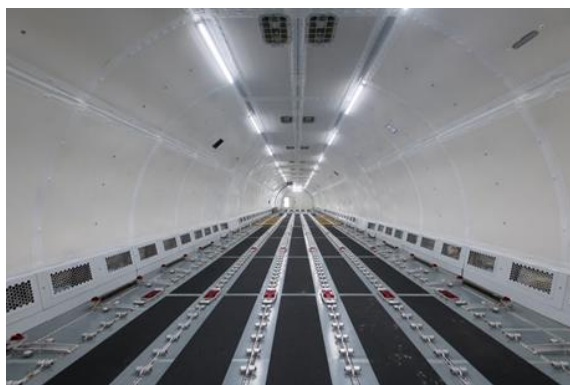
【参考画像】

Airbus321-200P2F 機体改修部分イメージ

(1) メインデッキカーゴドア



(2) メインデッキ内



(3) 受領済み機体の保管風景、機体デザインイメージ



以上

【お問い合わせ先】

＜一般の方＞

ヤマト運輸株式会社 コールセンター TEL:0120-01-9625

【参考プレスリリース】2022年1月21日

「持続的な物流ネットワークの構築に向けてフレイターの運航を2024年4月から開始」

https://www.yamato-hd.co.jp/news/2021/newsrelease_20220121_5.html